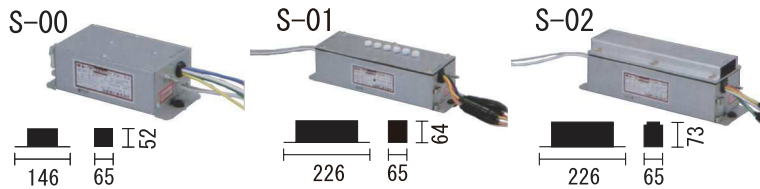


■ 電子点滅器



■ MC型

AC100V用 マイコン制御やICとオール半導体による完全無接点点滅器

内 100

品番	最大許容電流	パターン	基準周期	サイズ	標準価格(税別)	品番	最大許容電流	パターン	基準周期	サイズ	標準価格(税別)
MC40-4AZ	1A×4回路	多種パターン	51.4秒±50%	S-00	¥36,000	MC60-6AZ	1A×6回路	多種パターン	66.9秒±50%	S-01	¥43,000
MC40-8AZ	2A×4回路	多種パターン	51.4秒±50%	S-00	¥37,500	MC60-18AZ	3A×6回路	多種パターン	66.9秒±50%	S-02	¥55,000
MC40-12AZ	3A×4回路	多種パターン	51.4秒±50%	S-02	¥45,000	パターン ①4点2減流れ15回 ②順点・順消4回 ③4点2減段付流れ7回 ④2点1減流れ30回 ⑤全点全消3回 ⑥4点2減流れ15回 ⑦3点3減流れ15回 ⑧全点・全消・全点1回					

パターン ①3点1減流れ15回 ②まばたき順点・全点・全消4回 ③3点1減流れ15回 ④順点・順消4回 ⑤全点・全消3回 ⑥全点1回

■ 4段点滅器

AC100V 無段変速ボリューム付

内 100 在

品番	最大許容電流	パターン	基準周期	サイズ	標準価格(税別)	品番	最大許容電流	パターン	基準周期	サイズ	標準価格(税別)
VX31-4AZ	1A×4回路	3点1減流れ	180周期/毎分±50%	S-00	¥29,000	AX31-4AZ	1A×4回路	3点1減流れ+全消全点4回	125周期/毎分±50%	S-00	¥34,000
VX31-8AZ	2A×4回路	3点1減流れ	180周期/毎分±50%	S-00	¥33,500	AX31-8AZ	2A×4回路	3点1減流れ+全消全点4回	125周期/毎分±50%	S-00	¥35,000
VX31-12AZ	3A×4回路	3点1減流れ	180周期/毎分±50%	S-02	¥36,000	AX31-12AZ	3A×4回路	3点1減流れ+全消全点4回	125周期/毎分±50%	S-02	¥42,500
VX31-16AZ	4A×4回路	3点1減流れ	180周期/毎分±50%	S-02	¥41,500	AX31-16AZ	4A×4回路	3点1減流れ+全消全点4回	125周期/毎分±50%	S-02	¥44,500

■ 3段点滅器

AC100V 無段変速ボリューム付

内 100 在

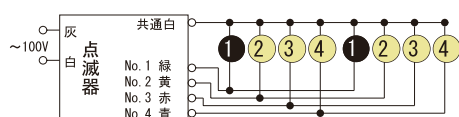
品番	最大許容電流	パターン	基準周期	サイズ	標準価格(税別)
VX21-3AZ	1A×3回路	2点1減流れ	130周期/毎分±50%	S-00	¥27,000



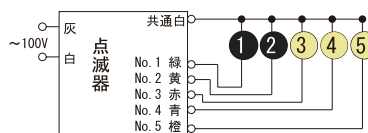
点滅器の安全上の注意(必ず読んでください)

- 電源電圧は、必ずAC100Vで使用してください。
 - 取付け工事は、必ず工事店、電気店(有資格者)に依頼してください。
 - 一般電気回路とは別回路で使用してください。
 - 電流量がオーバーしますと温度が高くなり、電子部品を破損しますので特に注意してください。
 - 密封された狭い容器の中や、蛍光灯安定器等高熱を発生する物との近接は避けてください。
 - 空気の流通をよくしてください。
 - 配線を誤ったり、ランプが切れてショートした場合、ヒューズが切れますので指定のヒューズとお取替えてください。点滅器の設置場所はヒューズ取替えの容易な場所にしてください。
 - 配線確認後必ずランプを取り付けてから電源を入れてください。ドライバー等でソケット内をショートしますと直接トライアックを破損する場合があります。
 - ランプの交換・点検・修理の際は必ず電源を切って作業してください。
 - 絶対に分解しないでください。
 - 点滅器のケースは、防水構造ではありません。水がかからないようにしてください。
 - 安全に使用する為に定期的に点検を行ってください。
 - 点滅器は、白熱電球用以外には使用しないで下さい。
- ※製品改良の為、寸法・仕様等は予告なく変更することがあります。ご了承願います。

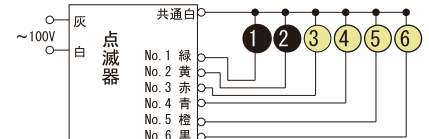
●3点1減点滅器配線図



別注 ●3点2減点滅器配線図



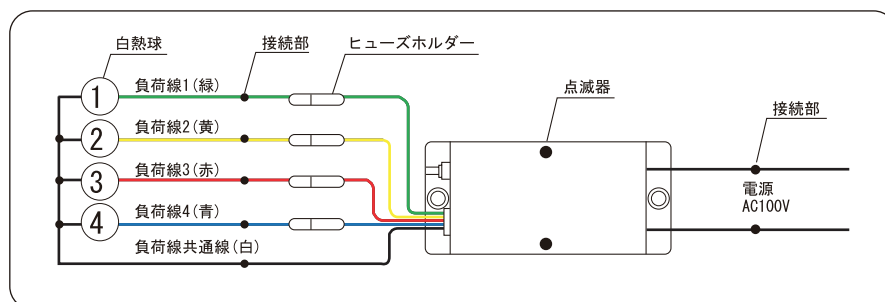
別注 ●4点2減点滅器配線図



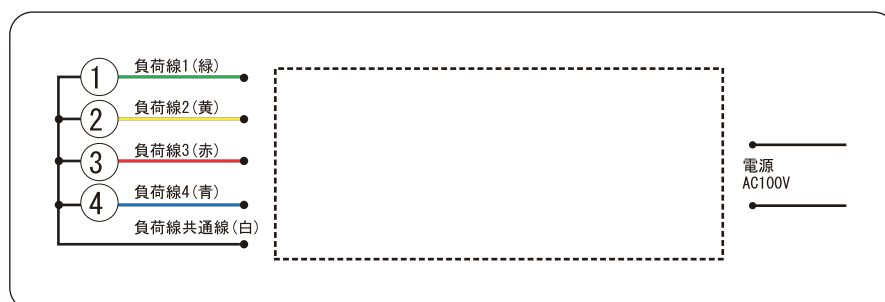
電子点滅器修理時の対応

電子点滅器を修理等で取り外す必要がある場合、点滅は出来ませんが全点灯させる方法を説明します。(作業される場合は、必ず電源を切ってから行って下さい。)

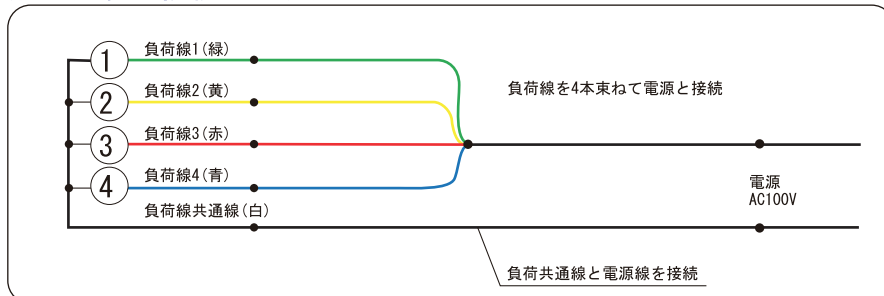
① 点滅器の負荷線、共通線側の接続部と電源側の接続部を切り離します。



② 負荷線、電源線の接続部を切り離した後、点滅器を取り外します。



③ 負荷線1~4を1つに束ね、電源線の片側に接続し、もう一方の電源線に負荷共通線を接続します。



故障かな？と思ったら以下の項目をご確認下さい

- 電球が点滅(点灯)しない。
 - ブレーカーが切れている。(電源の確認)
 - 点滅器の負荷共通線(白線)の配線の確認。
 - 停電している。
- 電球がバラバラに消灯している。
 - 電球が緩んでいないか。
 - 電球が切れていないか。
- 電球が定期的に4・5・6個おきに消灯している。
 - ヒューズが切れていないか。(ヒューズ切れの場合は、指定の容量のヒューズと交換)
 - 消灯している回路の負荷線(緑、黄、赤、青、橙、黒色線)の確認。
- 電球が一定のところより先が点灯しない。または、4個おきに消灯している。
 - 点灯しなくなった電球のところ共通線または、負荷線が断線していないか。
- 電源を入れるとヒューズが切れる。
 - ヒューズが切れる回路が短絡していないかメガ計やテスター等で絶縁を測定してください。
 - 電球の容量が使用している点滅器の容量をオーバーしていないか確認してください。
 - 同じサイズの電球でも容量(ワット数)の違うものがありますのでご注意ください。
- 点灯したまま点滅しない電球がある。
 - 電球切れや短絡、容量オーバー等で点滅器内部の電子スイッチが劣化したと思われますので点滅器の修理が必要です。

※上記項目で確認される場合、危険ですので必ず電源を切った状態で行ってください。